

## 令和5年度第2回寝屋川市ごみ減量化・リサイクル推進会議

日 時：令和5年8月29日（火）10：00～

場 所：寝屋川市クリーンセンター6階 多目的室

議 題：令和5年度（4月～6月まで）ごみ総排出量について、近隣市とのごみ量の比較について、令和6年度ごみ減量の取組計画について、その他

出席者：花嶋会長、荻野副会長、内田委員、北委員、寺島委員、竹川委員、掛川委員、水井委員、櫻井委員、榎並委員、森委員

### 次第1．令和5年度（4月～6月まで）ごみ総排出量について

（資料1に基づき、事務局より説明）

委 員：家庭ごみは減少しているが、焼却処理量は増えている理由について教えてください。

事務局：去年の6月に焼却炉が停止したことが大きな要因になります。停止した分が移行されて増えていることが大きな要因になります。

会 長：ありがとうございます。人口は0.8%しか減っていないが、ごみの排出量はトータル3.4%減少している理由について検討する必要があると思います。それでは、もし何かお気づきの点がございましたら、また後でお願いいたします。

### 次第2．近隣市とのごみ量の比較について

（資料2に基づき、事務局より説明）

委 員：大阪府内中核市のなかでは、寝屋川市は事業系ごみ排出量が最も少ないが、生活系ごみの総排出量が人口一人あたり最も多い理由として、主な要因として考えられることは何でしょうか？

事務局：不燃ごみの収集の回数の多さや費用がいらぬことが全てではないと思いますが、不燃ごみの収集の回数の多さや費用も影響していると考えられます。

副会長：家庭と事業所が同じ場合は、一部家庭ごみとして排出していただいても良いというルールになっていると思います。事業系ごみが少なく、家庭系ごみが少し多い理由について教えていただけますでしょうか。

事務局：事業系のごみに関しては、有料という形になっておりますので、基本的には事業系のごみを少なくして、家庭系のごみとして出す方が良いと思うので、店舗と住宅が

一緒の場合は、家庭系のごみステーションに排出するほうが良いという思いもあるかもしれません。事業系ごみの中に家庭系のごみを捨てるとなると、費用が高くなってしまふからであり、また、袋の数で収集料金も決まってしまうため、家庭系ごみと事業系ごみをきっちり分けているのではないかという認識です。家庭と事業所が同じ場所である方については、地域のごみステーションの収集に従って排出していただけるのであれば、45リットルポリバケツ1個分に限り、一緒に排出していただくことができます。

会 長：ありがとうございます。他に何かご意見ご質問等はございますでしょうか。

副会長：集合住宅での剪定ごみが燃えるごみの日の朝、100袋程度排出されている状況です。集合住宅での剪定ごみの収集について教えていただけますでしょうか。

事務局：戸建ての住宅で樹木の剪定ごみを排出する場合、常識の範囲で言うと2袋前後になると想定しています。その場合は、可燃ごみの日に排出していただいても結構ですが、集合住宅あるいは、自治会で清掃された場合の剪定ごみについては、袋数はかなりの数になると思います。この場合につきましては、可燃ごみの日に排出となると、収集は難しいです。基本的には日曜日に清掃活動をされると思いますので、別途申し込みをしていただいて、月曜日に集中して剪定ごみを収集している実態でございます。また、集合住宅で夏場の草刈りを緊急的に行う場合につきましても、事前に申し込みをしていただいて、収集の日時を調整していただきたいです。

会 長：ありがとうございます。他に何かご意見ご質問等はございますでしょうか。リサイクル率をみると、北河内7市と大阪府内中核市のそれぞれにおいて、寝屋川市が最も高い現状は、市民が頑張ってくださっているからだと思います。

次第3．令和6年度ごみ減量の取組計画について

(資料3・4・5に基づき、事務局より説明)

会 長：3010運動についてですが、ごみの削減と分かっているけれどもできない部分もあると思います。他の市を調べてみると、例えば八王子は、賞味期限が近い商品については、Web上で食品関連業者と市民をマッチングさせる取り組みが導入されているようです。パソコン等のリサイクルを行うリネットジャパンリサイクルの利用促進等八王子の取組については考えてもらえないでしょうか？

事務局：八王子市等でスーパーと連携してスマホ上などで賞味期限が近いものなどをアナウ

ンスする仕組みを導入している点については、事務局として状況把握しております。他の自治体がされている取組などについては確認していくなかで、効果があるものなのかどうかを把握する必要があると考えております。費用も関係するため、他の自治体がされている先進的な事例につきましては、引き続き調査や研究させていただきたいと考えております。

会 長：ありがとうございます。他に何かご意見ご質問等はございますでしょうか。

委 員：八王子市はリサイクルにより排出量が少ないこととして、全国でも優秀な都市と聞いています。寝屋川市の取り組み計画案の中でも様々な取り組みをされていると思いますが、逆に広く浅くなっているようにも感じられます。何か一つに特化した取り組みにおいて、効果を上げていく方向性も取り入れていくべきだと思います。

事務局：先ほどの説明と重複しますが、ごみ質調査を行いたい理由の一つとして、排出されたごみの中身をまず明らかにしないことには、どういう取組をするべきか分からないためです。「食品ロスを削減しましょう」「雑がみの分別をしましょう」「水切りをしっかりとしましょう」など特化した取組において効果を上げることもできると思います。ただ、ごみ質分析調査で、ある程度排出されたごみの中身が分かれば、市民さんに「今の現状がこうだからこうしないとだめです」と具体的に言いやすくなると思います。現状を確認して、実績を見たうえで、効果的なものについては導入するべきだと思いますので、引き続き確認していきたいと考えております。

委 員：資料5―②「ごみ減量・プロジェクト第2弾～ともに取り組もうシンカするごみ減量」で明記されている「ごみ総排出量」として一人あたり一日あたり45gの削減が必要であるなど具体的な数値を出していただいておりますけれども、例えば一世帯あたり一ヶ月あたりあるいは一年などで、おおよそを想定して、「可燃ごみと資源ごみの分別をすると、これだけ減りますというように、全体を分母として資源ごみを分子として数値化させたデータを出していただけると、より分かりやすくなるのではないかと思います。

事務局：委員がおっしゃるとおりだと思います。ごみ減量化・プロジェクト第2弾を進める際に、委員から出た意見として、全体的に焼却処理量を1万t減らしましょうと言われても、ピンとこないという意見がありましたので、第2弾としては、まず一人当たり45g減らしましょう、45gはイチゴ二個分(一個あたり23g)に相当しますと

出させていただきましたので、ごみ減量化プロジェクト第3弾においても、一つの家庭に当てはめて、どうするべきかというところを検討していきたいと考えております。

会 長：寝屋川市のすごく良いところは、委員みなさんのご意見を大きく反映させているところだと思います。寝屋川市のリサイクル率は21.3%と算出されていると思いますが、可燃ごみ、不燃ごみ、事業系ごみ、資源ごみ(ゴム、プラスチック等)の全体を分母として、そのなかで資源化されたものが21.3%ということでしょうか？

事務局：資源ごみと申し上げましたけれども、不燃ごみの中には、自治会の方に協力をいただいている資源集団回収やアルミ缶等が含まれていると思いますが、人の手により分類されたごみや最初から資源化されたもの等、全てを合わせたものを分子として、算出されたものが、リサイクル率21.3%となっております。

会 長：ありがとうございます。他に何かご意見ご質問等はございますでしょうか。

次第4. その他

(事務局より説明)

事務局：次回の日程につきましては、11月15日の水曜日を予定しております。クリーンセンター6階で開催したいと考えております。後日、開催のご案内及び出席の確認のご通知を送付させていただきますので、ご連絡よろしく申し上げます。委員の方にご出席の議題をいただいた中で、欠席の方が多いうことになれば、また日程調整させていただきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

会 長：ありがとうございました。他になければ、これで、本日予定しておりました案件はすべて終了いたしました。